

私達は、おはなしのろうそくに 火をともす マッチです。

この箱が、さまざまなれを放つ マッチでいっぱいになるように。

ストーリーテリング勉強会 の 記録

主催:オーテピア高知図書館 参加者:7人 場所:オーテピア 4 階集会室

今月のおはなし

次回の勉強会は

1月11日(水)9:30~11:30

(オーテピア 4 階集会室 申込み・参加費は不要)

※新型コロナウイルス感染拡大の状況により、変更・中止となる場合があります。 変更・中止については、オーテピアのウェブ・サイトにてお知らせします。

今月は、2つのおはなしを聞きました。どちらも、おはなしとして聞く ことで情景が心に浮かび、おはなしの世界に浸ることができました。 ストーリーテリングの良さを感じる勉強会となりました。

1 ジーニと魔法使い

『おはなしのろうそく 9』

(東京子ども図書館/編 東京子ども図書館)より

【語り手から】

小学校 5・6 年生に語りたいと思って、再度練習中です。 いろいろな感想を聞かせてもらったので、自分の語りと考え合わせて 点検します。

【聞き手から】

- ・大胆だけど、繊細なおはなし。
- ・おはなしがよく見えた。語り手の力だと思う。

30分

2 マッチ売りの少女

12分

『おはなしのろうそく 23』

(東京子ども図書館/編 東京子ども図書館)より

【語り手から】

ただ哀れな少女の話としてだけ伝わるのではなく、一途な望み、あこがれか ら醸し出される夢想、精神世界の強い輝きをも感じていただけるよう語りた いと思いますが、難しいです。

【聞き手から】

- ・絵本では感じられないものが伝わる。
- ・耳から聞くことで、改めてこのおはなしを知ることができた。









☆おはなしの所要時間は、語り手の方にお聞きしたものです。



オーテピア高知図書館 2022年12月27日